

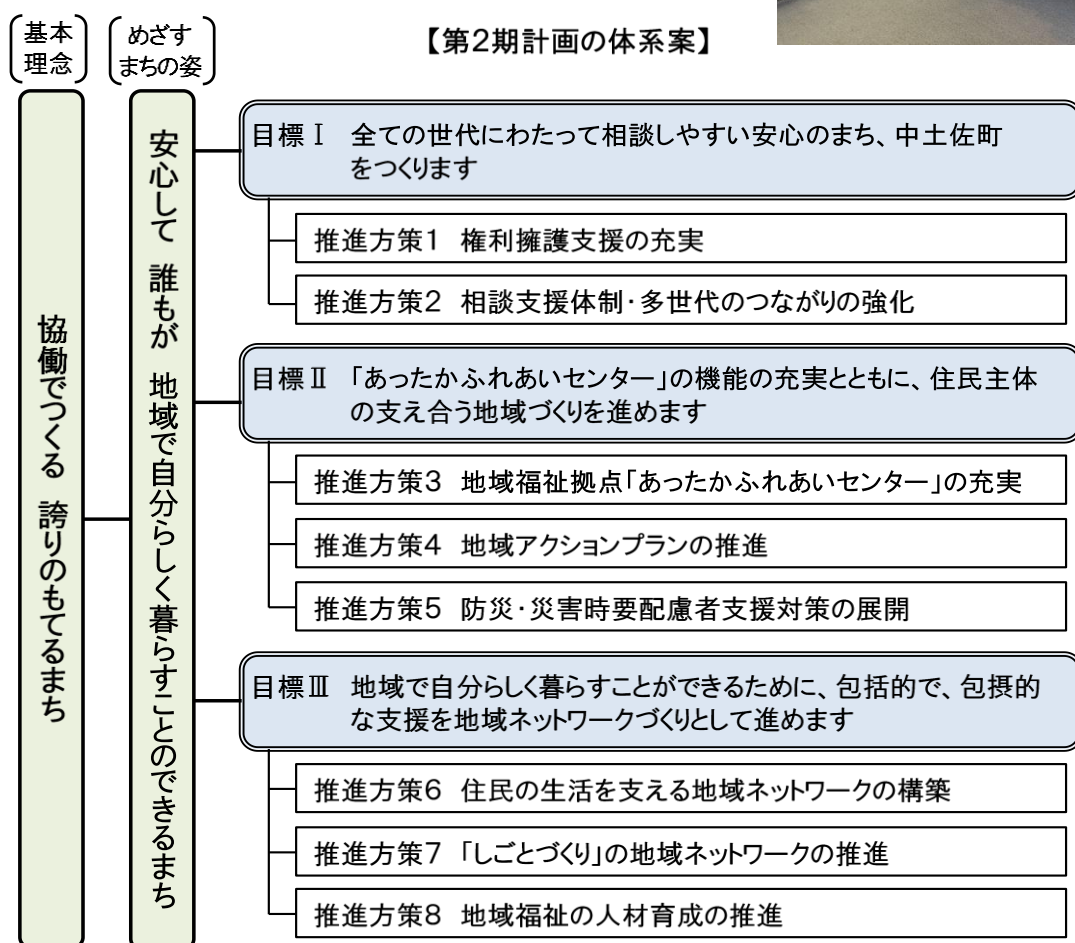
中土佐町地域福祉計画策定委員会 かわら版

「安心してだれもが 自分らしく暮らすことのできるまち」

第3号：平成29年1月発行

計画書素案について検討しました！

平成28年11月28日に第3回中土佐町地域福祉計画策定委員会を開催し、第2期計画の計画書素案を検討しました。第2期計画の体系案は以下の通りです。



委員からのご意見

- 権利擁護劇は非常にわかりやすく、劇中の主人公を重ね合わせて見ていたという声もあった/民生委員として私たちの身近にあるようなことに触れられていた(正岡委員/三宮委員)
- あったかふれあいセンターのお楽しみ会には様々な人が集まり、新しいつながりが生まれている。(木村委員)
- 要支援者や障害者にも積極的に周知した自主防災訓練では、全体訓練に行きづらいと考える人の参加も見られた(坂井委員)
- 知り合いばかりの中で子どもを見ており、(互いに)よく知っているためあまり問題に感じることはない(新田委員)
- 「地域アクションプラン」は、「地域と一緒に」「地域が主体になって」というところが見えてきており、とても評価できる。(細木委員)

裏面に続きます

地域アクションプランの内容

※各地域を代表する委員から、各地域ふくし活動推進委員会で協議したアクションプランについて報告していただきました。

久礼地域アクションプラン

目指す姿

声かけあい・つながりあい・支え合う まち

重点取り組み

1. 誰もが参加しやすい防災活動を展開します

小地域単位で進める防災に関する取り組みと協働し、参加しやすい住民が参加できるように防災・見守りマップ等を使って取り組みます。(小地域ケア会議)

2. 小地域単位で地域の支え合いネットワークを作ります

日ごろからできるつながりづくりや見守り支え合い活動を小地域単位で進めていきます。多世代の交流の機会を増やし、日頃から声をかけあったり子どもたちを見守っていく活動につなげていきます。

3. 地域福祉の担い手づくりをします

現在地域で行っている様々な活動や上記の1・2の取り組みを通じて、地域に関心を持ち協力できる担い手を増やしていきます。



委員からのご意見

- 活動の担い手が不足しており、活動の継続や展開ができないところがある。
- 担当地域の防災マップづくりで、若い世代もいることが分かった。しかし、若い世代は町内で仕事をしていないので参加が難しい。
- 会議を重ね、顔の見える話し合いができています。(山本委員)

矢井賀地域アクションプラン

目指す姿

人とひと絆深める安心の里

重点取り組み

1. 住民によるサテライトの充実

集まる場所がみんなの使いやすい場所になるよう話し合っていきます。そして、地区の交流やつながりづくりを大切にしながら、みんなが参加できるような場にしていきます。

2. マップやカードも継続しながら、見守りの強化に取り組みます

小地域ケア会議で、マップやカードのことも見守り意識を持って話し合いながら、いざという時にお互いが支え合えるようにしていきます。特に独居高齢者に対する見守りに力を入れていきます。

3. 現在行われている行事の継続と充実

これまで地域で行われてきた運動会や盆踊りなどの行事を続けていしながら、若手も巻き込めるよう話し合っていきます。



委員からのご意見

- アクションプランを住民でわきあいあい話し合いながらつくることは、とても重要だと感じた。
- アクションプランでは、できないことよりも今すぐできるような身近なところから取り組んでいきたいと考えている。(戸田委員)

上ノ加江地域アクションプラン

目指す姿

目くばり・気くばり・思いやりのまち上ノ加江

重点取り組み

1. 小地域ケア会議に若手(20代~60代)が参加できるよう取り組みます

これまでやってきたマップや見守り、訪問等を継続・発展させていく為、多世代交流や既存の様々な行事をきっかけに、仲間づくりや新たな人材の発掘と育成をしていきます。

2. それぞれが役割を担える生きがい活動に取り組みます

地域のつながり強化や高齢者の健康の為、地区や常会の行事や伝統を次の世代へつないだり、趣味や特技を活かしたりできる機会を作り、1人1人が役割を持つことで生きがいにつながる活動をしていきます。

今後検討していくこと

- ①個々の困りごとに応じた支援 ②地域での子育て



委員からのご意見

- それぞれのアクションプランを、矢井賀と上ノ加江合同で4時間程協議した。
- 小地域ケア会議に、若い世代も参加した方がよいと実感している。知らない人のことも分かるようになり、住んでいるまちを改めて見直すことができる。(濱田委員)

大野見地域アクションプラン

目指す姿

結いの精神が引き継がれる里

重点取り組み

1. 小地域ケア会議の展開

「つながる安心カード」の小地域ケア会議(事前事後会議)を通じて住民同士や地域での見守り・支え合いを推進していきます。また、各地域の課題を出し合い、解決に向けて取り組みます。

2. 高齢者の生きがい・健康づくり

趣味や特技を活かしながら高齢者が地域で活躍できる場を考え、住民同士が積極的に声をかけ合い、生きがいや健康づくりの取り組みに参加できる機会を作ります。

3. 地域福祉の担い手育成

若い世代の地域福祉への巻き込み・担い手育成に取り組んでいきます。若い世代が所属し、活動する既存の団体や企業等を巻き込みながら若い世代の意見や参加が得られる場や協力体制づくりを行います。



委員からのご意見

- 早くからこのような活動に参加していたら、もっとプラスになったらと感じた。(下元一志委員)
- 以前、大野見には青年団や青年サークルがあり青年団の話には高齢者も耳を傾けていた。維持できていたらいいと感じた。(正岡委員)

